

社会科

社会科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
<input checked="" type="checkbox"/> 知識及び技能	<input checked="" type="checkbox"/> 思考力、判断力、表現力等
社会的事象について理解する。(知識・理解) 諸資料を効果的に読み取る技能を身につける。(技能)	社会的事象について思考・判断したことを、説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。(思考・判断・表現)

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	定期テストで、基本的な知識を問う問題で、正答できない生徒が3割程度いる。 <input checked="" type="checkbox"/> 複数の資料を活用して、答えを導き出すことができる生徒が少ない。 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史上の出来事を適切に並び替える問題に対する正答率が低い。基礎的・基本的な知識に関連して、その知識を活用して推測することに課題がある。 <input checked="" type="checkbox"/>	定期的な小テスト(一問一答形式を含める)の実施。 単元のまとめの際に、課題解決型学習の実施。	単元のまとめ 定期考査前後 単元ごと	定期テストでは、基礎的な知識を問う問題の正答率が上がり、最低得点が上昇した。 複数の資料を活用して自身の意見を述べる生徒が増えた。 基礎的・基本的な知識に関連した新出の問題を既存知識活用して推測することに課題が残った。
第2学年	定期テストで、基本的な知識を問う問題で、正答できない生徒が2割程度いる。 <input checked="" type="checkbox"/> 複数の資料を活用して、答えを導き出すことができる生徒が少ない。 <input checked="" type="checkbox"/> 授業プリントの思考力、判断力、表現力が問われる問題に対する記述が不十分な生徒が見られる。 <input checked="" type="checkbox"/>	定期的な小テスト(一問一答形式を含める)の実施。 単元のまとめの際に、課題解決型学習の実施。	毎回の授業 単元ごと	定期テストでは、基礎的な知識を問う問題の正答率が上がり、最低得点が上昇した。 課題解決学習を通して、資料を根拠に自分の意見を述べる生徒が増えたが、複数の視点から社会的事象を捉えることに課題が残った。
第3学年	基礎的・基本的な知識について問う問題に対する正答率が低く、粘り強く学習を復習することに課題がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史上の出来事を適切に並び替える問題に対する正答率が低い。基礎的・基本的な知識に関連して、その知識を活用して推測することに課題がある。 <input checked="" type="checkbox"/>	定期的な小テスト(一問一答形式を含める)の実施。 受験期に向けた徹底的な復習の実施。	単元のまとめや各授業 1月以降	入試対策を繰り返すことで、粘り強く学習を復習する姿勢が身に付いた。 反復した復習によって、時代の順序を考えることができる生徒が増えた。

<p>■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</p> <p>全学年 課題追究を個別で行い、追究した事項を共有して、深い学びにつなげる際に、ICT を活用する。</p>	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p> <p>2年 単元ごとに単元を貫く問いの予想と振り返りを行い、自身の考えの変化を実感させる。他の生徒の意見などを視覚的に提示する。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------